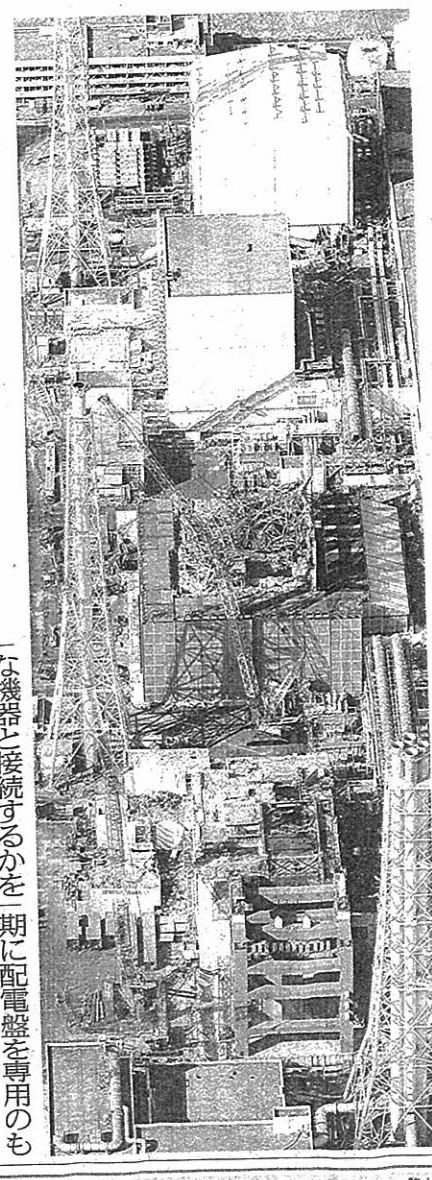
仮設配電盤 交換せず

専門機器なら防止可能

福島第一停電

東京電力福島第一原発の使用済み核燃料プールなどで同時多発した停電事故で、東電は重要な装置が仮設の配電盤につながっている危険性を認識していながら、後手に回った。停電の原因は仮設の配電盤で起きた異常が各設備に波及したと、東電の調査でほぼ判明。同時多発事故の恐ろしさは、東電自身が二年前に痛感したはずなのに、その教訓が十分に生かされなかった。（桐山純平）＝関連❷❸面



福島第一原発（上から）1、2、3、4号機＝19日午後、福島県大熊町で

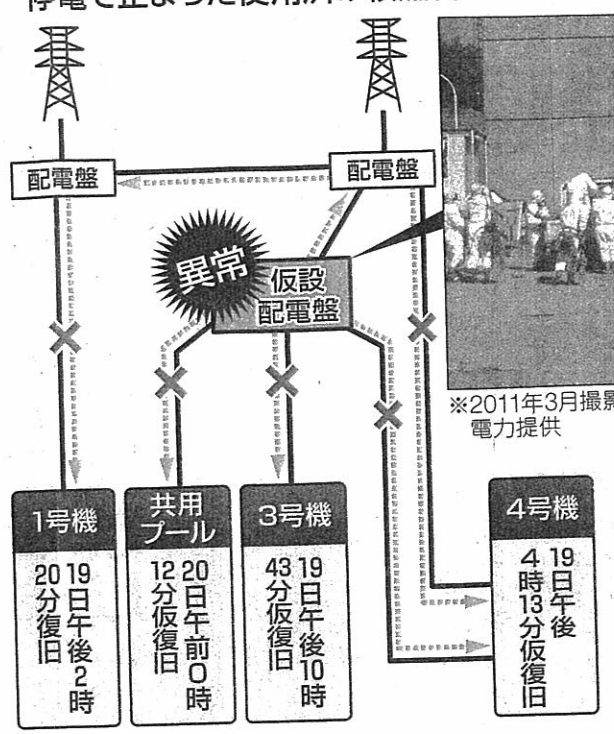
原因不明のまま仮復旧

停電事故で止まっていた使用済み核燃料プールの冷却装置など全九装置が、二十日午前零時すぎまでに運転を再開した。停電の影響を受けた全装置の運転再開は約二十九時間ぶり。ただ、停電の原因になったとみられる3、4号機の仮設配電盤の不具合の原因は分からず、装置の電源を別の配電盤につないだだけの仮復旧となった。

東電によると止まっていた1、3、4号機の使用済み核燃料プールが十九日午後に、共用プールが二十日午前零時すぎに、それぞれ運転を再開した。今のところ、仮設配電盤の内部に目立った損傷はなく、電気関係を詳しく調べて原因を探る。

東電は、早く運転再開させることを最優先し、つなぎ直した電源ケーブルは必ずしも整然となっていない状況だという。近く配電盤を、仮設のものから専用のものに交換するのに合わせ、ケーブルも引き直すという。

停電で止まった使用済み核燃料プールの冷却



※2011年3月撮影。東京電力提供

危機管理 甘さ再び

東電は、問題がありそうな部分を一つ一つ点検していき、最後に可能性が残ったのが3、4号機の仮設配電盤だった。この配電盤は、二〇一一年三月の事故直後の同十八日ごろに設置され、そのままトラックの荷台に置かれた状態で、ずっと使われてきた。簡易的な仕様で、文字通り仮設だった。

そんな配電盤であるにもかかわらず、つながれた装置は、3、4号機と共用プールの冷却装置など重要なものが多かった。早く専用の配電盤に交換していたら、停電事故は防げた可能性が高い。

配電盤を製造する企業で構成する日本配電制御システム工業会によると、仮設の配電盤は取り付けるのは簡単だが、ほぼ電気を流すだけの機能しか備わっていない。

これに対して、どんな機器と接続するかを十分考慮して取り付けられた専用の配電盤であれば、「他の機器に不具合を波及させないよう制御も働くので、今回のような事故は起きにくい」（担当者）という。

「3、4号機は今月中に、共用プールはもう少し後に、専用の配電盤につなぎ替える準備を進めていた。結果論として、もっと早く対応しておけばということになったが…」。東電の尾野昌之原子力・立地本部長代理は十九日の会見で後悔の念を述べた。

事故当初は電源復旧を最優先するために仮で対応することは仕方なかったとしても、早期に配電盤を専用のものにしなかった東電の危機管理の甘さがまた露呈した。

暴力パワハラ JOC全容調査

日本オリンピック委員会（JOC）が加盟五十七団体に行った調査で、回答した選手の一割強が暴力を含むパワハラやセクハラを受けたことがあると答えていたことが分かった。JOCが十九日、結果を公表した。＝関連㉑㉕面

調査は代表の監督・パワ…け、JOC…施。各競…化指定選…対象にアンケ…九日まで…九十八…百五十…

規制委 大飯9月まで運転も

新基準で事前確認 一部違反でも容認か

原子力規制委員会が十九日に示した新規制基準の導入方針で、国内で唯一、稼働している関西電力大飯原発（福井県おおい町）の適合状況を七月の基準施行までに確認し、問題があったら停止を求める姿勢をにじませた。

一委員長はその後の会見で「大飯は新基準を満たしている部分が多い」（更田豊志委員）という姿勢。他の原発は新基準を満たさなければ運転できないため、大飯原発も七月に停止が求められるとみられた。導入方針にもそうとれる文言があった。

しかし、田中氏は会見で、「大飯は一、二項目満たしていないだけで『即停止』とはならない」と説明。事前確認で新基準への違反が一部にとどまれば、運転継続を認める考えを示した。従来の姿勢と矛盾するが、田中氏は「例外扱いではない」と強調した。

新基準では各原発で想定される最大の地震・津波を新たに設定するが、検討はまだ始まっていない。防潮堤のかさ上げ工事や非常用発電装置の分散配置など、関電の新基準への対応が済むのは来年以降になる。

規制委・関電とも準備が不十分な中での事前確認になる。田中氏は「どこまで確認をするのか今は分からない」とあいまいな説明に終始し、事前確認を具体的にどう行うかは述べなかった。

東京昼間人口 最多1557万人

二〇一〇年の東京都の昼間人口は千五百五十七万六千人と、五年前より約六十万人増えたことが十九日、都のまとめで分かった。五年ごとの統計を取り始めた一九六五年から増え続けており、過去最多を更新した。都は都心のマンション開発が進み、都内の居住人口が増えたのが要因とみ…

…ている。

都によ…口は国勢調…学の動き…まとめて…村別では…は港区の…人で、千…一万九千…の八十二…マンショ…開発進…

きょうの紙面 春分

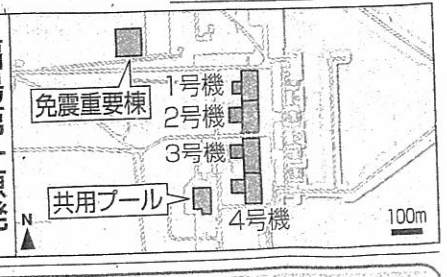
イラク戦争10年問う

96条で政界再編狙う　6
給食の危険、対応に差　10
選抜高校野球出場校　18 23
山本JAPAN検証　21
河口湖異変のワケは　24
27

天気

きょう 6 9 12 15 18 21 24時 降水確率

	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)
東京	30	14 8	19 5	12 6	15 6	17 7
	20	20	14	20	11	15



東京新聞
中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211

玉露園
飲んで美味しく
料理のかくし味でも大好評！
こんぶ茶
http://www.gyokuroen.co.jp

紙面について
電話 03-6910-2201（土日祝日除く 9:30～17:30）
FAX 03-3595-6935
購読お申し込み
0120-026-999
1カ月定価税込み（朝・夕刊）3250円
配達・集金について
03-6910-2556
TOKYO Web
www.tokyo-np.co.jp